

主な内容

- 2・3面
 - ・決算特別委員会
- 4～7面
 - ・一般質問
 - ・常任委員会審査報告
 - ・特別委員会中間報告
- 8面
 - ・議決結果一覧
 - ・陳情



▲小学校全22校の体育館に空調設備が設置されました

令和2年第3回定例会 令和元年度各会計の決算を認定 一般会計決算歳出総額1032億円

令和2年第3回市議会定例会は、8月31日から9月29日までの30日間の会期で開催されました。市長提出議案は、令和元年度府中市一般会計歳入歳出決算の認定についてなど22件を審議した結果、可決11件、認定6件、可決及び認定1件、同意4件となりました。議員提出議案は3件を審議した結果、可決2件、否決1件となりました。また、陳情8件が審議されました。

意見書(要旨)

◎生活保護制度に夏季加算新設を求める意見書

厚生労働省は、熱中症による健康被害が多く報告されていることを踏まえ、生活保護受給者へ一定の条件を満たす場合に、エアコン等の冷房機器購入費と設置費用の支給を認めている。

しかしながら、暖房代等の支出に対応する冬季加算は認められていないが、夏季加算については、認められていない。

よって、本市議会は政府及び都に対し、猛暑から生活保護受給者の命と健康を守るために、生活保護制度に夏季加算を新設することを要望する。

(関連記事8面)

◎新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延し、我が国は、

戦後最大の経済危機に直面している。地方自治体では、雇用の確保など喫緊の財政需要への対応をはじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、地方財政は巨額の財政不足を生じ、これまでにない厳しい状況に陥ることが予想される。

よって、本市議会は国会及び政府に対し、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、5つの事項を確実に実現するよう、強く要望する。

人事議案

定例会最終日の本会議に、市長から人権擁護委員候補者の任命の同意を求める議案とオンブズパーソン(53歳)の委嘱の同意を求める議案が提出され、次の方々が同意されました。

- 人権擁護委員候補者
 - 秋山 純子 氏 (64歳)
 - 丸山 悦子 氏 (53歳)
- オンブズパーソン
 - 河野 泰義 氏 (63歳)
 - 近藤わかな 氏 (53歳)

定例会日誌

(次の日程で開催しました)

- <8月>
 - 31日 本会議(委員会付託等)
- <9月>
 - 1日 " (一般質問)
 - 2日 " (")
 - 3日 " (")
 - 4日 公契約関係競売入札妨害事件に係る再発防止対策特別委員会
 - 7日 総務委員会
 - 8日 文教委員会
 - 8日 厚生委員会
 - 9日 建設環境委員会
 - 10日 基地等跡地対策特別委員会
 - 11日 市庁舎建設特別委員会
 - 14日 学校施設老朽化対策特別委員会
 - 16日 本会議(常任委員会審査報告等)
 - 17日 予算・決算特別委員会
 - 18・23・25日 決算特別委員会
 - 29日 本会議(特別委員会審査報告等)

令和元年度の決算は、一般会計歳入歳出予算額1062億9776万円に対し、歳入決算額は1057億1187万1000円、執行率は99.4%、歳出決算額は1032億4336万6000円で、執行率は97.1%です。その結果、歳入歳出差引額は、24億6850万5000円となり、このうち3400万円については、法の規定により財政調整基金に編入しています。

この議案の提案に当たり、市長から「歳出では、次の時代を見据えて着実に市政を進展させるとともに、目指す都市像である『みんなで創る笑顔あふれる住みよいまち』の実現に向け、『地域でつながる』『世界とつながる』『未来につなげる』をテーマに、各施策を積極的に推進した。元年度の主な成果としては、幼児教育・保育の無償化や二つの国際大会に向けた機運醸成、小学校におけるICT教育環境の整備及び体育館への空調設備の設置など、市民が安全・安心に暮らせるよう、様々な取組を行った」との説明がありました。

9月17日から25日にかけて開催された決算特別委員会で、慎重な審査が行われ、9月29日の本会議において、賛成・反対討論を行い、採決の結果、賛成多数で令和元年度一般会計歳入歳出決算は認定されました。

(関連記事2・3面)